

4 実践事例及び考察 第 4 学年での実践

実践事例 1 第 4 学年 「筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう」

教材 「アップとルーズで伝える」（光村図書 4 年下）

副教材 「くらしをまもる車」（学校図書 1 年下）

○実践校における課題の焦点化

「中心となる語や段落相互の関係を捉えること」



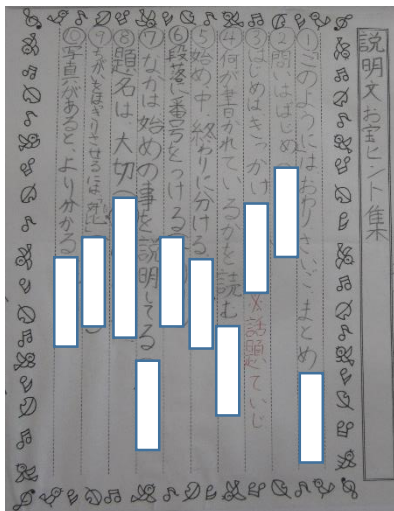
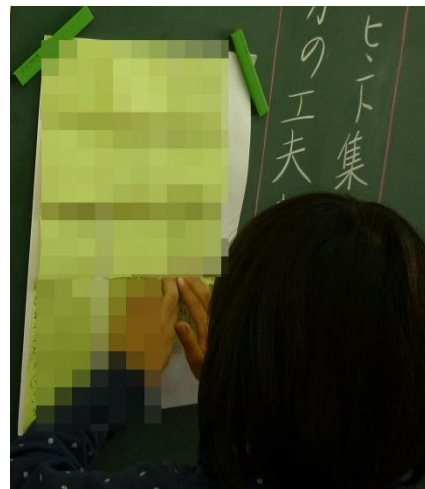
○課題の解決に向けて必要な力

「説明的な文章の解釈に関して、段落相互の関係を捉えながら読む力」



○課題の解決に向けた具体的な手立て

- [手立て 1] 低学年の説明的な文章を副教材として用いて、学び方を確認させる。
- [手立て 2] 学習を通して得た新たな知識を「説明文お宝ヒント集」にまとめさせ、活用を図る。
- [手立て 3] 単元を通した言語活動として「ガイドブック作り」を位置付け、主体的な活動を促す。
- [手立て 4] 児童が考えを広めたり深めたりする場として、グループ学びを設定する。
- [手立て 5] 振り返りで、キーワードを使って「学習して分かったこと」をまとめさせ、「自分ができるようになったこと」を書かせることで、自分の学びを自覚させる。



- 1 単元名 筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう
 教材「アップとルーズで伝える」(光村図書 4 年下)
 副教材「くらしをまもる車」(学校図書 1 年下)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、前単元「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」(光村図書 4 年上)で、段落相互の関係を考えながら読んだり、事実・説明・筆者の考えの関係を捉えたりする学習を行ってきた。段落ごとに何が書かれているか、筆者が伝えたかったことは何かについて、個人、グループ、全体で考える活動を行ったが、内容を十分に理解できている児童は少なかった。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の第 3 学年及び第 4 学年における「C 読むこと」の指導事項「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」をねらいとして設定している。

本教材では、映像や新聞の写真で用いられるアップとルーズの 2 つの方法について、それぞれの特徴を述べ、送り手が伝えたいこと、受け手が知りたいことを考えながらアップとルーズを使い分けることの大切さを述べている。本教材は、アップとルーズを対比的に述べており、段落相互の関係をつかませやすい教材である。また、文章だけでなく、写真を用いて対比関係を分かりやすくしており、児童はアップとルーズの対比関係を写真でも容易に理解することができると思う。

さらに、単元導入時に扱う教材文「くらしをまもる車」では、働く車が人々の生活を守っていることが述べられている。この教材文は、文章が短く、説明的な文章の基本的な構成が分かりやすく、まとまりごとに書かれている内容を理解し、段落相互の関係をつかみやすい。

そのため、単元導入時にこの教材文で説明的な文章の基本的事項を確認させ、「アップとルーズで伝える」で生かすことができると思う。

(3) 指導観

- ・ 第一次では、1 年生の説明的な文章「くらしをまもる車」を用いて、説明的な文章を読むために必要な内容(問い、始め・中・終わりの構成など)を確認させることで、「説明的な文章を読むことは、難しいことではない。」と安心感をもたせることをねらう。また、「説明文お宝ヒント集」を自分の言葉で書き加えながら完成させていくことを伝えることで、最後まで読みたいという意欲をもたせることをねらう。
- ・ 第二次では、「筆者の工夫」をキーワードに、文章構成や、段落相互の関係を読み、ガイドブックにまとめていくことを伝えることで、単元の学習課題を明確につかませることをねらう。課題意識をもたせることで、学習への意欲へとつなげていく。説明的な文章を読むヒントを見付けたら、自分の言葉で「説明文お宝ヒント集」に加筆させていくことで、自分に力がついていることを可視化させ、学習意欲を持続させることをねらう。
- ・ 第三次では、見付けた「筆者の工夫」を文章にまとめる活動を行う。まとめる際には、グループ学びを設定し、お互いの「説明文お宝ヒント集」に書かれた表現を比べ合い、より良い表現に修正した上で、筆者の工夫を大事なことから 3 つ、順番をつけてまとめさせ、グループで発表会をさせる。

3 単元の目標

- それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。
- 写真と対応した部分に注意して読み、アップとルーズそれぞれの特徴を整理することができる。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決したいという意欲をもち、文章を読んで自分の考えをまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、中心となる語を捉え、段落相互の関係や対比の関係を考え、文章を読んでいる。(イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手掛かりになることを理解している。(イ(ク)) 新出漢字、重要語句の読み方や意味を理解する。(ウ(イ))

5 指導と評価の計画(全9時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準【 】と 評価方法()
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもつ。 ・「くらしをまもる車」の文章を並べ替えてこれまでの説明的な文章の学習を想起する。 グループ学び ○単元を通した言語活動の見通しをもち、学習課題をつかむ。 クラス学び 	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらばらになった文章を並べ替えることで、説明的な文章の読みに大切な観点を想起させる。 ・グループ学びで、想起した観点についてより良い表現に検討させ、【説明文お宝ヒント集】にまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【説明文お宝ヒント集に書かれた児童の記述例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式段落に番号をつける。 ・キーワードに線を引く(題名に関係する言葉・くり返し使われている言葉)。 ・問いの文を見つける。 ・「はじめ」は、問いの文のある段落まで。 ・「このように～」で始まる段落から「おわり」。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して、筆者の工夫を見付け、ガイドブックにまとめることで、今後の説明的な文章の学習でも活用していくことを伝え、意欲や見通しをもてるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>≪学習課題≫ 筆者の工夫を、段落と段落を関係付けて、ガイドブックにまとめよう。</p> </div>	<p>【関・意・態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもって、説明的な文章を読もうとしている。(発表・ワークシート)
二	2	<ul style="list-style-type: none"> ○学習計画を立てる。 ○「くらしをまもる車」の段落相互の関係を確かみ、ガイドブックにまとめる。 グループ学び ひとり学び 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を明確にさせることで、学習のゴールをイメージさせ、学習計画を立てさせる。 ・グループ学びで、「くらしをまもる車」の段落相互の関係を確かみ、文章の構成図を書かせる。 ・「くらしをまもる車」を基に、「アップとルーズで伝える」の文章の構成を考える。 	<p>【読】【知・理・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くらしをまもる車」に書かれていることを読みガイドブックにまとめている。 ・指示語や接続語が文や段落の関係を示す手掛かりになることを理解している。(ワークシート・発表)
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○【説明文お宝ヒント 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の工夫を見付けるために、【説明文お宝ヒント集】のヒントと「アップとルーズ 	<p>【関・意・態】</p>

		<p>集】のヒントと「アップとルーズで伝える」とを比べて読む。</p> <p>ひとり学び</p> <p>グループ学び</p> <p>クラス学び</p>	<p>で伝える」とを比べながら読ませた後、グループ学びで検討させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時にひとり学びで考えた「アップとルーズで伝える」の文章の構成をグループ学びで検討させる。 ・グループ学びの結果を、全体で交流させる。 ・本時で見付けたヒントを【説明文お宝ヒント集】に加筆させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アップとルーズで伝える」を【説明文お宝ヒント集】を使って読んでみる。(発表・ワークシート)
4	○	<p>「アップとルーズで伝える」の全体の文章構成をつかむ。</p> <p>グループ学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形式段落の書き出しにサイドラインを引かせることで、段落と段落との関係に気付かせる。 ・「アップとルーズで伝える」の内容の大体を読み、「始め・中・終わり」の分け方を、段落と段落との関係に気を付けて、グループ学びで検討させる。 ・本時で見付けたヒントを【説明文お宝ヒント集】に加筆させる。 	<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成を捉えている。(発表・ワークシート)
5	○	<p>「アップとルーズで伝える」の文章の構成から、対比の関係を捉える。</p> <p>ひとり学び</p> <p>グループ学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて書かれている言葉や文にそれぞれ色を分けて線を引かせることで、対比の関係に気付かせる。 ・写真と文章を関連付けることで、対比の関係に気付かせる。 ・本時で見付けたヒントを【説明文お宝ヒント集】に加筆させる。 	<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対比の関係を捉えている。(発表・ワークシート)
6	○	<p>⑦、⑧段落の役割について考える。</p> <p>グループ学び</p> <p>クラス学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・⑦、⑧段落が必要か必要でないか、その根拠について、グループ学びで検討した後、クラス学びで話し合わせる。 ・⑥段落と⑧段落を比較することで、文章全体をまとめているのは、⑧段落であることを確認させる。 ・本時で見付けたヒントを【説明文お宝ヒント集】に加筆させる。 	<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係を捉えている。(発表・ワークシート)
三	7 8	<p>○「アップとルーズで伝える」で筆者が最も伝えたかったことを考える。</p> <p>グループ学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張が書かれているとっておきの一文を選ばせることで、筆者の工夫に気付かせ、ガイドブックにまとめさせる。 ・ガイドブックにまとめた言葉をクラス学びで交流させる。 ・本時で見付けたヒントを【説明文お宝ヒント集】に加筆させる。 ・筆者の工夫をガイドブックにまとめさせることで、学習課題を振り返らせる。 	<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を捉えている。(発表・ワークシート)

9	<p>○筆者の工夫をガイドブックにまとめる。</p> <p>○ガイドブックに書いた筆者の工夫に対する自分の考えを、発表し合う。</p> <p>グループ学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文をグループで互いに読み合い、筆者の工夫が分かりやすくまとめられているかを確認する。 ・単元全体を振り返り、説明的な文章を読む時に必要なことをまとめたり、自分の力で文章を読むことができるようになったかを自己評価したりする。 	<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り自分が身に付けた力に気付いている。（発表・ワークシート）
---	--	--	--

第 4 学年 実践事例 (1 時目)

1 本時の目標

学習課題を解決したいという意欲をもち、文章を読もうとしている。【関心・意欲・態度】

2 本時の展開(全 9 時間 本時 1 / 9)

学習活動	指導上の留意点(○)
<p>1 ばらばらになったカードを並び替える活動を通して、説明的な文章の特徴を見付ける。</p> <p>2 ペアで、並び替えた順番の根拠を話し合う。</p>	<p>○「くらしをまもる車」の教材文を形式段落ごとに 8 枚のカードに分け、ばらばらに並べて提示した。</p> <p>○ペアで、8 枚のカードを正しく並び替える活動に取り組みさせた。</p> <p>○ペアで、カードを並び替えた順番とその根拠について考えさせた。</p> <p>○どのようなことに気を付けて並び替えたのかを考えさせることで、それまでの説明的な文章の学習を振り返り、説明的な文章の特徴を捉え、説明的な文章を読む時に大切なことを見付けさせた。</p>
<p>《本時のめあて》 説明文を読む時に大切なことを、 「くらしをまもる車」を読んで、 【説明文お宝ヒント集】にまとめよう。</p>	
<p>3 説明的な文章を読む時に大切なことを、自分の言葉で書かせ、グループでどのまとめ方がよいか検討し合う。</p> <p>グループ学び</p>	<p>○グループで順番やその根拠について話し合う活動を通して、説明的な文章の読みに必要な観点到に気付かせた。</p> <p>○クラスで児童の発言をもとに分類整理して、【説明文お宝ヒント集】にまとめさせた。その際、観点を出した児童名も書き込むことで、自分たちで作成するという意識させた。</p>
<p>【説明文お宝ヒント集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式段落に番号を付ける。 ・キーワードを見付ける。 ・問いの文がある。 ・「このように～」からが終わりになる。 	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: 150px; text-align: center;"> <p>形式段落別に、ばらばらになった説明的な文章</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: 150px; text-align: center;"> <p>児童が正しく並び替えた説明的な文章</p> </div> </div> <p>○本単元では、【説明文お宝ヒント集】を基に、既習の説明的な文章の読み取り方を使って読むことと新たな読み取り方や筆者の工夫を見付けて、ガイドブックにまとめていくことを伝えた。</p>
<p>4 単元の学習課題を話し合う。</p>	<p>○【説明文お宝ヒント集】の観点が「アップとルーズ」でも使えるのかどうかを確かめながら、説明的な文章の新たな読み取り方や筆者の表現の工夫をガイドブックにまとめ、今後の学習で活用していくことを伝えた。</p>
<p>《単元を通じた学習課題》</p> <p>筆者の工夫を、段落と段落を関係付けて、ガイドブックにまとめよう。</p>	
<p>クラス学び</p>	<p>○【説明文お宝ヒント集】の観点が「アップとルーズ」でも使えるのかどうかを確かめながら、説明的な文章の新たな読み取り方や筆者の表現の工夫をガイドブックにまとめ、今後の学習で活用していくことを伝えた。</p>

	○教師が作成したガイドブックのモデルを提示することで、単元のゴールをイメージさせ、児童の意欲を喚起し、学習の見通しがもてるようにした。
--	---

3 本時の評価

評価規準	学習課題を解決したいという意欲をもち、文章を読もうとしている。【関心・意欲・態度】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	説明的な文章の構成を振り返りながら、意欲的に教材文の並べ替えをしている。	友達と話し合いをしながら意欲的に教材文の並べ替えをしている。	並べ替えをしない。 →友達の考えを参考に並べ替えをさせる。
評価の方法	発言・ワークシート・振り返り・行動観察		

第 4 学年 実践事例 (2 時目)

1 本時の目標

説明的な文章を読む時に大切なことを、「くらしをまもる車」を読んで見付け、自分の言葉でまとめることができる。【読む】

2 本時の展開(全 9 時間 本時 2 / 9)

学習活動	指導上の留意点(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時に作成した【説明文お宝ヒント集】を提示し、これを基に「くらしをまもる車」の構成や筆者の工夫を読み取ることを伝えた。
《本時のめあて》 「くらしをまもる車」を読んで、説明文を読むときに大切なことを見付け、自分の言葉でまとめよう。	
2 学習計画を立てる。	○学習計画を話し合い、今後の見通しをもたせた。
3 「くらしをまもる車」を読み、ガイドブックにまとめる。	○【説明文お宝ヒント集】を基に、文章構成図を作成させた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・始め・中・終わりに分ける。 ・段落ごとに何が書かれているか小見出しを付ける。 ・筆者の主張(一番伝えたかったところ)を見付ける。 ・「中」に何がどのように書かれているかを考える。 </div> →筆者は、自分の主張を伝えるために、「中」で何をどのように述べているのかをまとめさせた。
グループ学び	○段落相互の関係をつかませる活動では、グループ学びを行い、互いの考えを伝え合い、読み取りを深めさせた。
ひとり学び	○説明的な文章の読み取りに必要なヒントが新たに出てきたら【説明文お宝ヒント集】に付け加えさせた。
4 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させた。

3 本時の評価

評価規準	「くらしをまもる車」に書かれていることを読み、ガイドブックにまとめることができる。【読む】 指示語や接続語が文や段落の関係を示す手掛かりになることを理解することができる。【言語についての知識・理解・技能】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	「くらしをまもる車」の文章構成を理解し、自分の言葉で小見出しや筆者の工夫を書いている。	「くらしをまもる車」の小見出しや筆者の工夫を書いている。	小見出しや筆者の工夫を書していない。 →板書を基に、文章構成図を作成させる。
評価の方法	発言・ワークシート		

【学習計画表】

		筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう。 名前 ()	
学習計画			
一	○これまでに学習したことを思い出す。 ○これからの学習の見通しをもつ。 ○学習計画を立てる。	／	
二	○「くらしをまもる車」を読み取り、ガイドブックにまとめる。	／	
三	○「アップとルーズで伝える」を自分で読み取る。	／	
四	○「アップとルーズで伝える」をみんなできわしく読み取る。	／	
五	○「アップとルーズで伝える」で筆者が一番伝えたかったことを考える。 ○「アップとルーズで伝える」での筆者の工夫をガイドブックにまとめる。	／	
六	○学習をふりかえる。 (できるようになったこと・ついた力)	／	

第 4 学年 実践事例 (3 時目)

1 本時の目標

筆者の工夫を見付けるために、【説明文お宝ヒント集】と「アップとルーズで伝える」とを比べながら読もうとしている。【関心・意欲・態度】

2 本時の展開(全 9 時間 本時 3 / 9)

学習活動	指導上の留意点(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時に作成した「くらしをまもる車」の文章構成図を提示し、この構成図や【説明文お宝ヒント集】を基に、「アップとルーズで伝える」を読むことを伝えた。
《本時のめあて》 筆者の工夫を、【説明文お宝ヒント集】と「アップとルーズで伝える」とを比べながら見付け、ガイドブックにまとめよう。	
2 「アップとルーズで伝える」を読む。 ひとり学び	○【説明文お宝ヒント集】や「くらしをまもる車」の文章構成図を参考に、自力で文章構成図にまとめさせた。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 文章構成図にまとめる際に主にすること ・形式段落に分ける。 ・問いの文に線を引く。 ・キーワードに線を引く。 ・はじめ・なか・おわりに分ける。 </div>
グループ学び	○文章構成図を作成しながら、【説明文お宝ヒント集】のヒントが「アップとルーズで伝える」にも当てはまるかどうかを検討させた。当てはまるものは○、当てはまらないものは×、どちらかわからないものは△を付けさせた。
クラス学び	○ヒントが当てはまるかどうかを、グループで検討させた。 ○グループ学びの結果を、全体で検討させた。
3 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させる。

3 本時の評価

評価規準	筆者の工夫を見付けるために、【説明文お宝ヒント集】と「アップとルーズで伝える」とを比べながら読もうとしている。【関心・意欲・態度】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	「アップとルーズで伝える」の文章構成を理解して、【説明文お宝ヒント集】のヒントが当てはまるかを検討し、○△×を付けている。	【説明文お宝ヒント集】のヒントが当てはまるかを検討し、○△×を付けている。	○△×を付けていない。 →友達の考えを参考に書かせる。
評価の方法	発言・ワークシート		

第 4 学年 実践事例 (4 時目)

1 本時の目標

筆者の工夫を見付けるために、「くらしをまもる車」と「アップとルーズで伝える」とを比べて読み、教材文「アップとルーズで伝える」の構成の工夫を捉えることができる。【読む】

2 本時の展開(全 9 時間 本時 4 / 9)

学習活動	指導上の留意点(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時に作成した文章構成図を基に、本時では全体で検討することを伝えた。
《本時のめあて》	筆者の工夫を、「くらしをまもる車」と「アップとルーズで伝える」とを比べて読んで見付け、ガイドブックにまとめよう。
2 「アップとルーズで伝える」の全体の文章構成をつかむ。 グループ学び	<ul style="list-style-type: none"> ○段落の始めの言葉にサイドラインを引かせ、前後の段落との関係を考える手掛かりとさせた。 ○「くらしをまもる車」でまとめたガイドブックをもとに、構成図にまとめさせた。 ○グループで「始め・中・終わり」の分け方について考えさせた。 ○キーワードや問いの文にサイドラインを引かせた。 ○キーワードや内容から各段落に書かれていることを小見出しにまとめさせた。 ○【説明文お宝ヒント集】のヒントが当てはまるかどうかについては、全体で文章構成図を作成しながら当てはまるかどうかを確定していく。本時で解決できないヒントについては、次時以降に解決していくことを伝えた。
3 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させた。

3 本時の評価

評価規準	「アップとルーズで伝える」の構成を捉えることができている。【読む】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	【説明文お宝ヒント集】や、キーワードや内容を基に、始め・中・終わりに分けたり、小見出しを書いたりしている。	【説明文お宝ヒント集】を使って、始め・中・終わりに分けたり、小見出しを書いたりしている。	始め・中・終わりに分けたり、小見出しを書いたりすることができない。 →友達の考えや板書を参考に書かせる。
評価の方法	発言・ワークシート		

第 4 学年 実践事例 (5 時目)

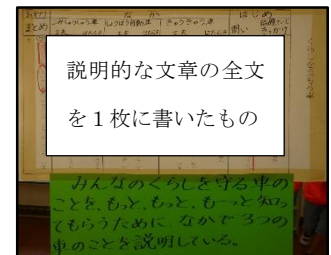
1 本時の目標

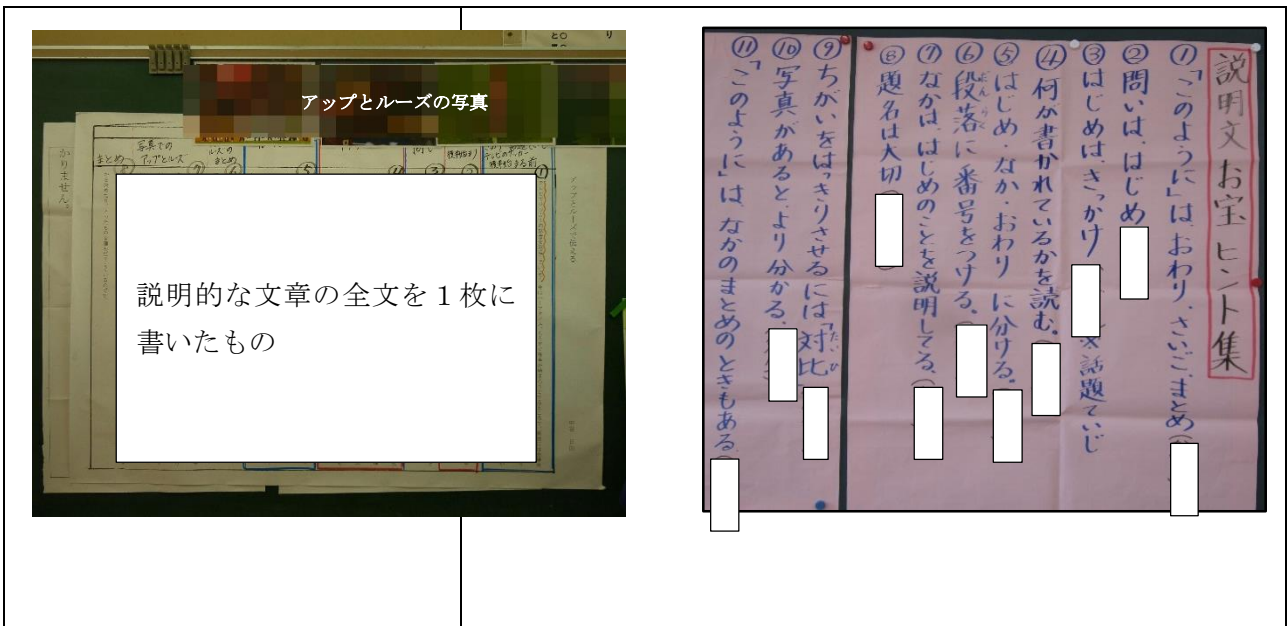
筆者の工夫を、段落と段落を関係付けて読み、対比の関係を捉えることができる。【読む】

2 本時の展開(全 9 時間 本時 5 / 9)

学 習 活 動	指導上の留意点(○)
1 前時までの学習を振り返る。	○前時までに出てきた疑問や解決できていないことをみんなで考えていくことを伝えた。
2 本時のめあてをつかむ。	○ヒント集をもとに「アップとルーズで伝える」を詳しく読んでいくことを伝える。
《本時のめあて》 筆者の工夫を、段落と段落の関係から読んで見付け、ガイドブックにまとめよう。	
3 ⑥段落のはじめの 1 文がどこを指しているのかを考える。 ・「このように」の内容が、どの部分なのかを考える。 ひとり学び	○アップとルーズで伝えられることと伝えられないことが④⑤段落に書かれていることから、「このように」が、④⑤段落にかかっていることを確認させた。
4 ④⑤段落の関係を読み取る。 ・アップとルーズで伝えられることと伝えられないこととは何か。それがどこに書かれているか。	○アップとルーズについてそれぞれ色を分けて囲ませる。 ○伝えられることと伝えられないことについて述べている文を表に表し、それぞれが反対になっていることに気付かせた。
5 ④⑤段落と同じ関係の段落を見付ける。 ・アップとルーズについて説明されているのは、文章だけか。	○書かれている内容から、①②段落が④⑤段落と同じ関係であることに気付かせた。 ○写真に着目させ、写真の様子を説明している文章を見付けさせ、写真がアップとルーズの説明を補う役目になっていることに気付かせた。
6 対比について知る。	○アップとルーズが「対比」という関係にあることを確認させた。
7 「このように」の使い方を確認する。 グループ学び	○「くらしをまもる車」では、文章全体をまとめる役割の段落に「このように」が使われていたが、「アップとルーズで伝える」では、部分的にまとめる段落に使われていることに気付かせた。
8 本時のまとめをする。	○本時で分かったことを自分の言葉でまとめさせた。 ○「対比」は、筆者の工夫の一つであることを確認させた。 ○「くらしをまもる車」との構成を比較させ、構成が異なることを確認させた。

- ・「このように」は、文章全体だけでなく、部分をまとめる役割もある。
 - ・アップとルーズが対比で述べられている。





3 本時の評価

評価規準	段落と段落を関係付けて読み、対比の関係を捉えることができる。【読む】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	「このように」の役割や対比関係を捉え、自分の言葉で説明することができる。	「このように」の役割や対比関係を捉えることができる。	アップとルーズについて書かれている段落を見付けさせ、書かれていることが互いに反するものであることを図式化して示す。
評価の方法	発言・ワークシート		

【児童の振り返り】

今日の学習で、強をつけてと分かりやすい説明になると分かりました。

今日は④のたんらくと、⑤のたんらくのちがいをたいひということが、分かりました。

今日は、ちがいを、見るのが対比と初めて知って、なるほどと思いました。対比をもっと、さがしたいです。

第 4 学年 実践事例 (6 時目)

1 本時の目標

⑦、⑧段落と他の段落との関係を考え、⑦、⑧段落の役割を捉えることができる。【読む】

2 本時の展開(全 9 時間 本時 6 / 9)

学習活動	指導上の留意点(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時に学習した「対比」や「このように」の役割について確認させた。 ○「⑦、⑧段落は、この説明的な文章には必要ないのではないかと問い掛けた。
《本時のめあて》 筆者の工夫を、⑦段落と⑧段落の役割を読んで見付け、ガイドブックにまとめよう。	
2 ⑦、⑧段落が必要かについて自分の考えをもつ。 グループ学び	○グループ学びで、⑦、⑧段落が必要かどうかと、その理由をワークシートに書かせた。
3 ⑦、⑧段落が必要かどうか話し合う。 クラス学び	○次のような観点で理由を書いている児童の考えを中心に発表させた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ・⑥段落までに書かれていることと、⑦段落に書かれていることの違いに着目している。 ・⑦段落、⑧段落に書かれている内容に着目している。 </div> ○⑦段落では、⑥段落までになかった新聞(写真)について述べられていることから、1つの事柄だけでなく、もう1つの事柄を述べることで筆者の伝えたいことがより分かることに気付かせる。 ○⑧段落の「テレビでも新聞でも～」に着目させる。「テレビ」と「新聞(写真)」について述べられていることから、⑧段落は文章全体のまとめの役割があることを確認させた。
4 筆者が⑦⑧段落を書いた理由をまとめる。	○説明的な文章では、1つの事柄だけでなく、複数の事柄で説明することにより筆者の主張を伝えようとしていることを【説明文お宝ヒント集】に自分の言葉でまとめさせた。
5 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させる。

3 本時の評価

評価規準	⑦、⑧段落と他の段落との関係を考え、⑦、⑧段落の役割を捉えることができる。【読む】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	⑥段落までと⑦段落の書かれている内容の違いに気付き、⑦⑧段落の	⑦、⑧段落の役割を書いている。	⑦、⑧段落の役割に気付いていない。 →⑦、⑧段落の書き出しに書か

	役割を書いている。	れている言葉に着目させる。
評価の方法	発言・ワークシート	

【ワークシート 6時目】

<p>③</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>			<p>⑦⑧段落は、() なせなら、() ()と書きます。</p>	<p>④</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div> <p>名前 ()</p>
---	--	--	---	---

筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう
アップとルーズで伝える

第 4 学年 実践事例 (7・8 時目)

1 本時の目標

単元で見付けた筆者の工夫を、比べて、大切なことから3つ選んで書くことができる。【読む】

2 本時の展開(全9時間 本時7・8/9)

学習活動	指導上の留意点(○)
1 前時の学習を振り返り、 本時のめあてを知る。	○【説明文お宝ヒント集】に書き加えてきたことを振り返り、本時ではこれらの工夫を使って、筆者が伝えたかったことは何かを考えていくことを伝えた。
《本時のめあて》 単元で見付けた筆者の工夫を、比べて、大切なことから3つ選んでガイドブックにまとめよう。	
2 「アップとルーズで伝える」で筆者が一番伝えたかったことを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">グループ学び</div>	○「アップ」で伝えたかったこと、「ルーズ」で伝えたかったことをそれぞれまとめさせた。 ○2つの伝えたかったことから、筆者が1番伝えたいことが述べられている段落や文を見付けさせた。 ○最後の段落に述べられている文章に込められた筆者の思いを考えさせた。
3 筆者の工夫をガイドブックにまとめる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【予想される言葉】 ・アップとルーズ ・筆者(中谷さん) ・対比 ・写真 </div>	○これまでの学習で分かったことや、【説明文お宝ヒント集】に新たに加えたヒントを基に、筆者が自分の主張を伝えるためにどのような工夫をしていたのかを文章にまとめさせた。 ○ガイドブックに載せる枠に限りがあることを提示し、文字数を制限した。 ○まとめを書く際に用いるべき言葉を児童から出させるようにした。
【児童のまとめ】 ・筆者の中谷さんは、対比を使ってアップとルーズのちがいをはっきりさせていた。 ・筆者の中谷さんは、対比をくり返して使い、アップとルーズのちがいをはっきりさせていた。 ・筆者の中谷さんは、写真も使って説明することで、読む人にアップとルーズのそれぞれの良さを伝えたかった。	
4 文章を互いに読み合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">グループ学び</div>	○書いた文章をグループで読み合い、筆者の工夫が分かりやすくまとめられているかを確認させた。
5 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させた。

3 本時の評価

評価規準	単元で見付けた筆者の工夫を、比べて、大切なことから3つ選んで書くことができる。		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	筆者の主張を正確に読み取り、60字以内で筆者の主張や工夫を書いている。	筆者の主張や工夫を60字以内で書いている。	筆者の主張や工夫を書いていない。 →筆者の主張が書かれている段落を【お宝ヒント集】に新たに付け加えたヒントから工夫を見つけさせる。
評価の方法	発言・ワークシート		

【ワークシート 7時目】

【ワークシート 8時目】

